

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すまいるネクスト		公表日		R6年 2月 25日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7	2	人員配置基準に従い、支援を行っている。	送迎の時間が重なった時や、外出の際に、事故に繋がらないよう工夫して支援していく。 送迎の組み方や外出のメンバーの見直しを行う。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	3	用途に応じ部屋分けをしている。 室内はバリアフリー化している。 階段には手すりをつけている。	トイレが混み合うことがある。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	2	用途に応じて部屋分けしており、それぞれが居心地の良い場所で過ごせたり、集団活動では広い部屋を使い、メリハリをつけながら活動に合わせた空間作りを心掛けている。	階段がある為、必要に応じサポートしていく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	0	こどもの気持ちに寄り添いながら支援を行ない、必要に応じ個別の部屋や場所を使用している。	思春期ならではの悩みもある為、家庭と連携を図っていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8	1	毎日のミーティングや活動後に振り返り、次回に向けての話し合いを必ず行うようにしている。また記録を残し周知できるよう心掛けている。	退勤時間が異なる為、記録だけでなく細かな所は口頭で伝えるなどし共有できるよう徹底していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0	保護者の方の意向把握の中で、可能な限り実現できるよう努めている。 今年度は情報伝達訓練を行い、周知することができた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0	毎日のミーティングや個々での意見を把握しながらより良い支援が出来るよう改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	5	弁護士、行政書士、大学教授等を顧問、特別アドバイザーとして専門的な評価を用い施設の向上に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		9	0	月に1回外部講師を招き社内研修を行っている。 また、外部研修にも積極的に参加し、職員のスキル向上に繋げている。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9	0	ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		9	0	アセスメントをおこない、児童発達支援管理責任者でなく全職員がニーズや課題を整理、分析し、計画に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8	1	児童発達支援管理責任者を中心にモニタリングから職員で話し合い共通認識を持ち、作成している。	・一度に全職員が集まる会議は難しいため（シフト制のため）情報の共有を徹底していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9	0	ミーティングにて計画を共有している。支援前に活動の狙いなどを話し合いながら一人ひとりに着目し支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		9	0	インフォーマルなことは支援記録、ミーティングシートに記載し必ず確認、分析を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		9	0	支援計画に記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		9	0	職員全員で活動プログラムを考え、組み立てている。四季を感じられる活動内容を心がけている。	

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	週単位で活動プログラムを実行しているが、習慣化する中にも毎日変化を加えている。利用者、保護者の方の意見も取り入れながらプログラム作成している。また、休日にしかできない活動では様々な機会に触れることができようとしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	集団活動、個別の活動を組み合わせ5領域を意識し、計画作成、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日ミーティングを行い、前回の活動を踏まえながら、どう進めていくか細かく打ち合わせし支援を行っている。	長期休みではミーティング時間が限られているため、事前にプログラム、支援内容を予め細かく決める必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	その日の活動や子どもの様子等共有している。また、特記事項はミーティングシートに記入し全職員が閲覧出来るように情報共有している。また、参加できない職員は翌日の支援前のミーティングを行い、検証、改善を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	個人記録、連絡帳に必ず記録をとっている。また、その都度話し合い、検証・改善に努めている。	記録だけでなく細かな所は口頭で伝えるなどし共有できるよう徹底していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	年に2回、また必要に応じモニタリングを行ない見直ししている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	4つの基本活動を意識し活動プログラムの組み立て、支援を行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	自己選択できるようメリット、デメリットをお話したり、絵カードや写真等を使い自己選択や一人ひとりに合わせながら意思決定する力を育てている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	施設としてふさわしい者を選定し会議に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	サービス担当者会議にて連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	送迎時に情報共有することができる。	送迎時にもう少し学校の様子など伺えると良い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	必要に応じ、情報共有することができる。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	必要に応じ、情報提供や会議を行ないスムーズに移行できるよう努めている。保護者の方同意の下好きなことや強みや活動内容を記載したノートを作成し渡すこともある。	本人、保護者が安心して移行できるよう、障がい福祉サービス事業所、相談支援員と連携を図っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	研修がある場合は職員に周知し、可能な限り参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	公園等へ出かけ、交流ができるようになっている。図書館など市役所周りのイベント利用、地域のお祭りへ参加している。	・地域の学童などとの交流する機会はないが、来年度は、学童と併用する児童も増えてくることが見込まれるため、学童と連携が取れるように働きかけていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	関市自立支援協議会子ども部会に参加し、情報共有することができる。	自立支援協議会（子ども部会）に参加したことのない職員への情報を共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳や送迎時、電話等で情報共有しながら、共通理解が持てるよう努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者会の開催、研修のチラシの配布を行っている。	・保護者の方へアンケートを実施し、よりもとめている勉強会を行っている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明を行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	日々の連絡帳や送迎時、面談時にてご意向を聞きながら、成長段階に沿ったサービスの提供、向上に繋げている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	丁寧に説明を行い、計画の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	日々の連絡帳や送迎時、面談時に適宜行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	年に2回保護者会を開催している。お祭り、音楽発表会の開催をし保護者、きょうだい同士で交流する機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情があった場合迅速に対応できるよう心掛けている。日々、気兼ねなくお話しいただけるよう関係構築に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	SNSによる配信、毎月の振り返りにて写真付き活動記録を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	会議で話し合い個人情報の取扱いに留意している。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	研修を行いながら、保護者の方の希望のみでなく、子どもの発達の見点から必要な力や思いを伝えるよう努めている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	すまいる発表会時、子どもたちの作品を展示することで、地域の方にも活動を知ってもらえた。	・感染症予防・個人情報等の課題から地域住民との交流の機会は作れていない。 ・招待するなどは今後検討していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各マニュアルを作成、実施している。職員、保護者に周知し、今年度は情報伝達訓練を実施した。	定期的にマニュアルを読み返す機会を設けていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年に2回地震、火災、洪水を想定し避難訓練を実施した。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	契約時のアセスメントにて情報共有や日々の様子を確認しながら体調の把握に努めている。てんかんマニュアルを掲示し、職員に周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	契約時必ず確認、同意書にサインをいただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成し、備品のチェックを定期的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	今年度は公式LINEにて伝達訓練を行い、安全計画に基づいた取り組みを実施した。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットがあった場合には職員に周知している。また、手に取れる場所に保管している。	虐待防止委員会にて情報の共有、支援の見直しを行い再発防止に繋げていきたい。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置している。外部講師を招き定期的な研修を行っている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	個別支援計画書に明記している。契約時、身体拘束について説明しご理解頂いたうえで同意書にサインを頂いている。	引き続き、研修を行い理解を深めていく。	